

# なつかし多度津のまち歩き

## こんぴら街道 海の玄関

## 「絵地図」



### こんぴら街道への海の玄関 多度津

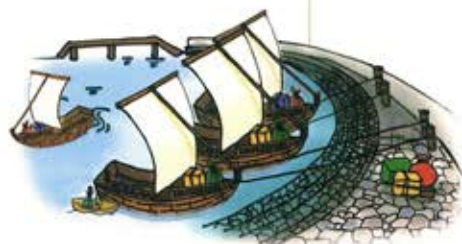
古くから良港の恩恵を受けてきた多度津。江戸時代より、北前船の寄港地として栄え、全国から様々な物産や情報の集まるさぬき一の港町へと発展してきました。また、金刀比羅宮へと続くこんぴら街道の玄関口としても賑わい、たくさんの参拝客が多度津の港から、まち中を歩いて、たくさんの参拝客が多度津の港から、まち中を歩いて、こんぴらさんを目指して歩いて行ったものでした。時代が明治に移っても、讃岐鉄道の開業や県内初の私立銀行

設立など、多度津は四国の近代化をリードしてきました。多度津のまち中、通り、建物からは、江戸・明治・大正・昭和と様々な時代を感じることができます。「こんぴら街道 海の玄関 なつかし多度津のまち歩き絵地図」を片手に、往時の雰囲気を感じながら、こんぴら街道へと続く通りをゆっくりと歩いてみてください。

### 多度津のあゆみ

弥生時代の稲作に始まり、平安時代の荘園成立、室町時代の香川氏の統治など、長い歴史を持つ多度津。幾多の歴史を重ね、多度津が本格的に栄えるようになったのは、江戸時代中期に丸亀藩京極家の分家・多度津藩がこの地を治めるようになってからのことです。

江戸時代 前期・中期	江戸時代 後期 (主に1830年代以降)	幕末～明治～大正・昭和初期	戦後～
<ul style="list-style-type: none"> <li>●1658 京極氏の統治始まる</li> <li>●1694 丸亀藩から一万石を与えられ分家 ⇒多度津藩の成立</li> <li>●多度津湊(古港)が金毘羅参詣客の上陸地として繁栄</li> <li>●1670年代 日本沿岸の東回り・西回り航路の整備による海運の発達</li> <li>●古港が西回り航路の寄港地として栄える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1829 四代目藩主・高賢が陣屋を建設(現在のJR多度津工場付近)</li> <li>●1838 新港が完成</li> <li>●さらに多くの金毘羅参詣客が上陸するようになる</li> <li>●新港築造により、大型船の出入りもできるようになり、瀬戸内海屈指の良港となる</li> <li>●北国や東北、瀬戸内海や大阪を結ぶ廻船・北前船の寄港地として発展</li> <li>●廻船問屋が軒を連ねる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1871 廃藩置県により多度津藩の廃止</li> <li>●西日本からの金毘羅参拝客は船で多度津港に上陸し、讃岐鉄道で琴平へ向かった</li> <li>●1884 大阪商船により、多度津—阪神間の定期客船航路発足</li> <li>●1888以降 港の整備に伴う大々的な埋め立て工事を随時行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1964 多度津—阪神間定期客船航路廃止 ⇒陸上交通の時代へ</li> <li>●1963 琴平参宮電鉄営業廃止</li> </ul>
		明治中期頃まで	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●1889 景山基右衛門ほか17名が讃岐鉄道を開業(後に国鉄へ)</li> <li>●1891 県内初の私立銀行、多度津銀行を設立</li> <li>●1925 琴平参宮電鉄多度津棧橋駅オープン</li> <li>●1930 国鉄多度津工場の拡張 町の経済を支える基盤となる</li> </ul>	



# 大通り・家中周辺エリア

A

江戸時代の終わり、この辺りには、丸亀藩京極家の分家・多度津藩の陣屋がありました。陣屋とは、城を持つことが許されない大名の屋敷の総称で、天守閣や大規模な城壁は無かったものの、居館(住居)・鼓楼・学館・馬場・射場等を備えた立派なものでした。

## 「四国鉄道発祥之地」石碑

讃岐鉄道多度津駅の跡地。当時の駅の様子が志賀直哉の小説「暗夜行路」に描かれています。



(旧多度津駅)

## JR四国多度津工場(陣屋跡)

旧多度津藩陣屋の御殿跡地。明治22年讃岐鉄道の車両修繕場として発足しました。シンボルマークは入口のSL動輪のモニュメント。



## 山本医院

ヘラジカの銅像に注目！角の部分に子どもが…？



## 大正堂

イチオシは昔ながらの素朴なロールカステラ。季節限定のいちご大福もおすすめ♪



【営】9:00~19:00 【休】日  
【TEL】0877-33-2303  
(商品は要予約)

## 前川大理石店

加工場は弘化4年築、旧多度津藩の米蔵だったもの。鬼瓦には多度津藩京極家の家紋・隅立て四つ目が入っています。



なつかし多度津のまち歩き  
**スタート**

## 金刀比羅神社

毎年、金刀比羅宮の例大祭の事初めの行事「潮汲藻刈神事」が行われる神社。



## フロンティア

大正元年「楽天堂医院」として開業。レトロモダン風のおしゃれな洋館。



## 多度津町立資料館

多度津の発展の歴史が分かる資料館。まずはここで多度津のまちの全体像をつかんで、まち歩きをスタート。



【営】9:00~17:00  
(入館は16:30まで)  
【休】月(祝日の場合翌日)・祝翌日  
【TEL】0877-33-3343

## ふなだまり

物資を下ろした船が停泊する場所。ここで船をリターンさせていました。



## 桃陵彫工房

楠材を使い、彫りの深さによって微妙な濃淡をつけた多度津の新しい民芸。素朴さと気品を併せ持っています。

※体験、講座・作品の見学等要予約  
【TEL】0877-32-2684(嶋田)



## 豊津橋

**ゴール**

JR多度津駅へ

## たどっーロコラム

### 多度津七福神

江戸時代、港が北前船の寄港地として栄える中で財力を持った船問屋等、7軒のこと。【景山・塩田(2家)・武田(3家)・合田】明治時代に入ってから、この多度津七福神を中心に近代化の礎を築いていきました。

### 讃岐鉄道の開業

明治22年、多度津七福神の1人、景山基右衛門が中心となり、県内初の鉄道「讃岐鉄道」を開業。多度津を起点として琴平・丸亀の二方面へ向け、現在のJR四国線の基となる路線が開通しました。



# 本通り周辺エリア

B

金毘羅信仰が盛んだった江戸時代中期以降、多度津の港に上陸した金毘羅参詣客は本通りや、そのほか何本かある港発のルートを通ってこんびらさんを目指しました。多くの金毘羅参詣客で賑わった本通り周辺には商家が多く、出身地や家業に因んだ屋号が残っているところもあります。



## 少林寺拳法旧道場

少林寺拳法発祥の地。現在は、桃陵公園に練成道場があります。



## 柳原菓子店

看板商品は多度津に伝わる逸話にちなんだ「一太郎やいせんべい」。今では珍しい計り売りも嬉しい。



【営】8:30~19:00 【休】日  
【TEL】0877-32-2731

## 塩田邸 屋号:岡山屋

かつては「吹」(おしほを二つ折りにして作った袋)を取り扱う商家。格子窓の刀傷は、商家の繁栄に反感を持った武士が斬りつけた跡だと言われています。



## 小国博義邸・小国隆太郎邸

明治中頃までは餅やまんじゅうの製造販売所で、こんびら参りのお土産「でんごもち」は当時の多度津名物でした。江戸時代の当主が岡山藩の武士だったことが屋号の由来。



屋号:備前屋

## 神原薬局 屋号:茶屋

「茶の七」の呼び名で質屋業を営んでいたことが屋号の由来。多度津の古い写真を紹介してくれます。金鳥のレトロな看板も探してね。



【営】8:30~18:00 【休】日・祭日  
【TEL】0877-32-3216

## たどつーロコラム

### 「一太郎やあい」のはなし

老母が日露戦争に向かう息子を見送るために20kmもの距離をわらしがけて駆けつけ、岸壁から離れ行く船に向かって激励したという心温まる話。桃陵公園にはその母性愛に満ちた老母の姿を再現した「一太郎やあい」の銅像があります。



## 菓舗三宅

黄身餡をふんわりとした生地で作った銘菓「たどつ太鼓」。優しい味が懐かしい。



【営】9:00~19:00 【休】不定休  
【TEL】0877-32-3491

## 合田邸 屋号:島屋

多度津七福神の1家、合田家の邸宅。ステンドグラスやレンガ造りの威が、当時の栄華を物語ります。



鶴橋 弥谷道・こんびら街道分岐道標と金毘羅燈籠

## 宮崎時計店 屋号:天富堂

店内の大きな外国製の柱時計は、日本に数台しか渡っていないとされる貴重なもの。

【営】8:30~19:30  
【休】第1・3日  
【TEL】0877-32-2366



## えびす神社

廻船問屋や商人の名前が刻まれている玉垣からは、港で栄えた多度津の歴史が感じられます。



## 雁木

昔は桜川の川幅がもつと広く、船はこの雁木に接岸し、物資の積み下ろしをしていました。



## 石川金物店

大きな蔵は、多度津七福神の一軒が所有していたもの、立派な存まご壁が財力の証です。



## 金本屋呉服店

屋号:金本屋

江戸時代、船金具を作る船鍛冶屋を営んでいたため、このような屋号が付けられたそう。



## よっていってやー

多度津商店街の様子やイベントの写真を展示。ぜひ寄ってみてくださいね。【TEL】0877-32-3467(要予約)



## 清水温泉

大正末~昭和50年代半ば頃まで賑わったまちの銭湯。レンガ造りの煙突が当時の面影を残しています。



# なつかし多度津のまち歩きエリア

## 大通り・家中周辺エリア

なつかし多度津のまち歩き

スタート

多度津町立資料館

家中



大通り

極楽橋

A

豊津橋

桃陵彫工房

ゴール

JR多度津駅へ

本通り

B

## 本通り周辺エリア



鶴橋

### 弥谷道・こんびら街道分岐道標と金毘羅燈籠

こんびら街道の起点を示す分岐道標。鶴橋を挟んで金毘羅燈籠があり、ここがこんびらさんへ向かうまでの重要な通過地点だったことが分かります。

